



2022年5月12日

各位

会社名 ライト工業株式会社
代表者 代表取締役社長 阿久津 和浩
(コード番号 1926 東証プライム)
問合せ先 専務取締役 経営企画本部長 西 誠
(TEL 03-3265-2555)

中期経営計画「Raito2024」策定に関するお知らせ

当社は、2023年3月期を初年度とした中期経営計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 経営理念

当社グループは、経営理念に『新たな価値に挑戦し、創造し続ける』を掲げ、いつの時代も皆様に信頼される企業を目指しております。

2. 計画の基本方針

本中期経営計画では、基本方針として『新たな分野への挑戦により、新たな価値の創造とサステナブルな成長を実現する』を掲げ、DX や技術開発の推進により新たな成長基盤を確立し、独自技術を通じた持続的社會形成への貢献と、当社グループの持続的な成長を目指します。

3. 中期経営計画の対象期間

2023年3月期から2025年3月期までの3カ年

4. 中期経営計画の連結数値目標

(単位;百万円)

	実績	計画
	2022年3月期	2025年3月期
売上高	109,504	120,000
営業利益	13,236	13,500

詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

本資料で開示されているデータ及び将来に関する予測は、本資料発表日現在の判断や、入手可能な情報に基づくものであり、経済情勢や市場動向の変化等、様々な要因によって変化する可能性があるため、記載された目標・予想等の達成及び将来の業績を保証するものではありません。

以上

中期経営計画 Raito 2024

2022年5月12日発表



ライト工業株式会社

■ Agenda

1. 前中期経営計画期間の振り返り
2. 環境認識
3. 中期経営計画基本方針
4. 経営数値目標
5. 三大重点戦略
6. 株主還元方針

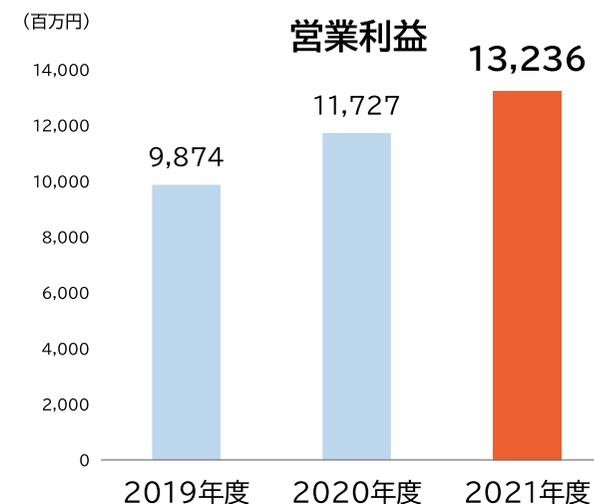
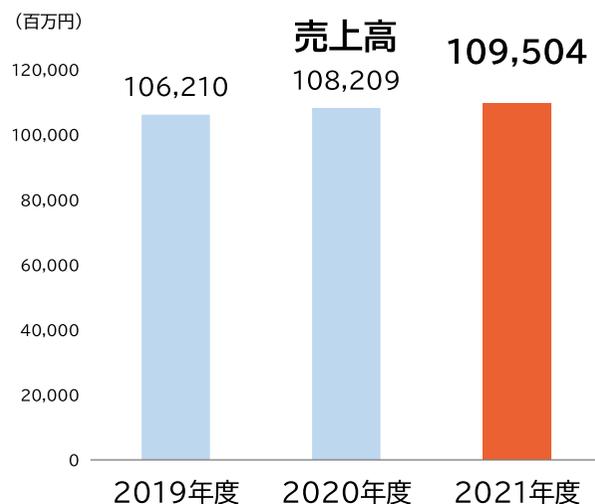
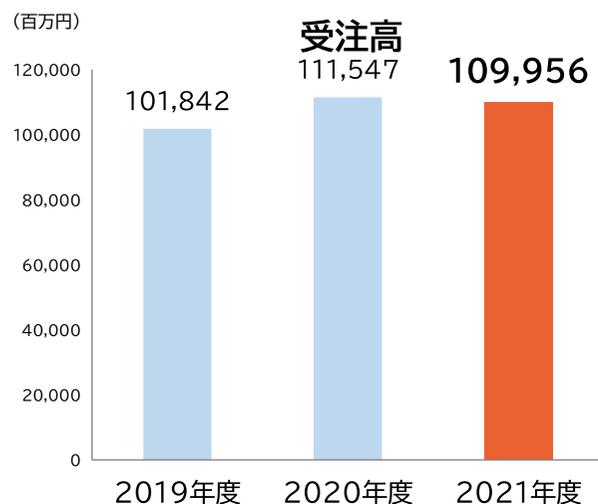


1. 前中期経営計画期間の振り返り

■ 経営指標の推移

(百万円)

	2019年度	2020年度	2021年度
受注高	101,842	111,547	109,956
売上高	106,210	108,209	109,504
営業利益	9,874	11,727	13,236



1. 前中期経営計画期間の振り返り

技術開発の推進

2019年度

2020年度

2021年度



**点群データを利用した
法面出来形計測システム**
ICT法面工(法枠工)への対応

**削孔位置
モニタリングシステム**
曲線パイプルーフ工における高精度
施工



**ポリマーセメント
モルタル吹付けシステム**
既設導水路トンネルライニング工

切削状況確認システム
高圧噴射攪拌工法を高精度で管理

KHI工法
高圧切削浸透注入工法



**ボルト挿入機能付き
リモートスカイドリル**
無線操縦式バックホウドリル

Automatic-Shot R
全自動吹付システム

ICT削孔管理システム
アンカー工やロックボルト工の管理
を効率化するICT計測システム

2. 環境認識

■ 社会環境と建設市場の動向



世界経済は新型コロナウイルス感染拡大による様々な業種でのサプライチェーンへの影響や世界各地での国際関係の緊張に加え、米国・中国経済の減速懸念など潜在リスクが多く不透明な状況。



国内の建設市場は国土強靱化のための5カ年加速化対策を主体とした公共事業に加え、民間の建設投資についても堅調に推移すると考えられるが、原油高や資材コストの高騰などが懸念される。



技能労働者の不足は慢性的であり、働き方改革による労働時間の短縮からも生産性向上への新たな取り組みが求められる。

3. 中期経営計画基本方針

■ 経営理念の実現とSDGs貢献に向けた計画策定への道標

経営理念

新たな価値に挑戦し、創造し続ける



GOAL

中期経営計画
Raito 2024

新しい
価値

新しい
分野

3. 中期経営計画基本方針

新たな分野への挑戦により、 新たな価値の創造と サステナブルな成長を実現する

01 | デジタル社会をリードする
技術開発による新たな成長基盤の確立

02 | 独自技術を通じた
環境保護と持続的社會形成への貢献

03 | マルチステークホルダーとの価値共創

4. 経営数値目標

	実績：2021年度(連結)	目標：2024年度(連結)
売上高	1,095億円	1,200億円
営業利益	132億円	135億円
ROE	11.4%	10%以上
配当性向	31.0%	35%以上

5. 三大重点戦略

(1) 事業強化戦略

① 専業土木事業強化戦略

さらなる成長に向けた総合力の強化

- 補修・補強分野の強化による新たな柱の創出
- ICT技術の一層の活用による生産性と品質の向上
- 気候変動由来の
災害防止に貢献する技術のさらなる開発と普及



② 建築事業強化戦略

総合的対応力の強化による一層の成長

- 設計からリニューアルまで
一貫した対応による品質と信頼の向上
- 営業エリアの拡大に向けた経営資源の強化と体制整備
- ZEB等の環境性能に優れた高付加価値建物への適応



③ 海外事業強化戦略

総売上高の1割事業に向けた持続的成長

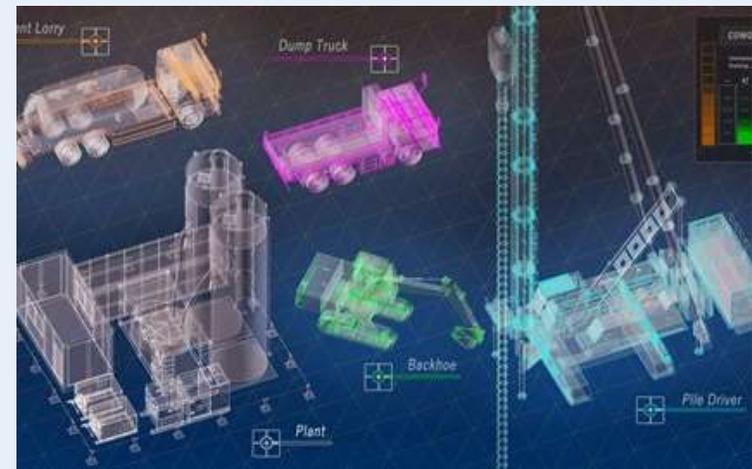
- 既存市場の維持・拡大と
新たな市場への参入による事業量の確保
- 人的資源と物的資源の増強による組織体制の一層の強化
- 新たなアライアンスの構築とローカル化のさらなる推進



④ 研究・開発強化戦略

サステナブルな成長を担う技術開発の推進

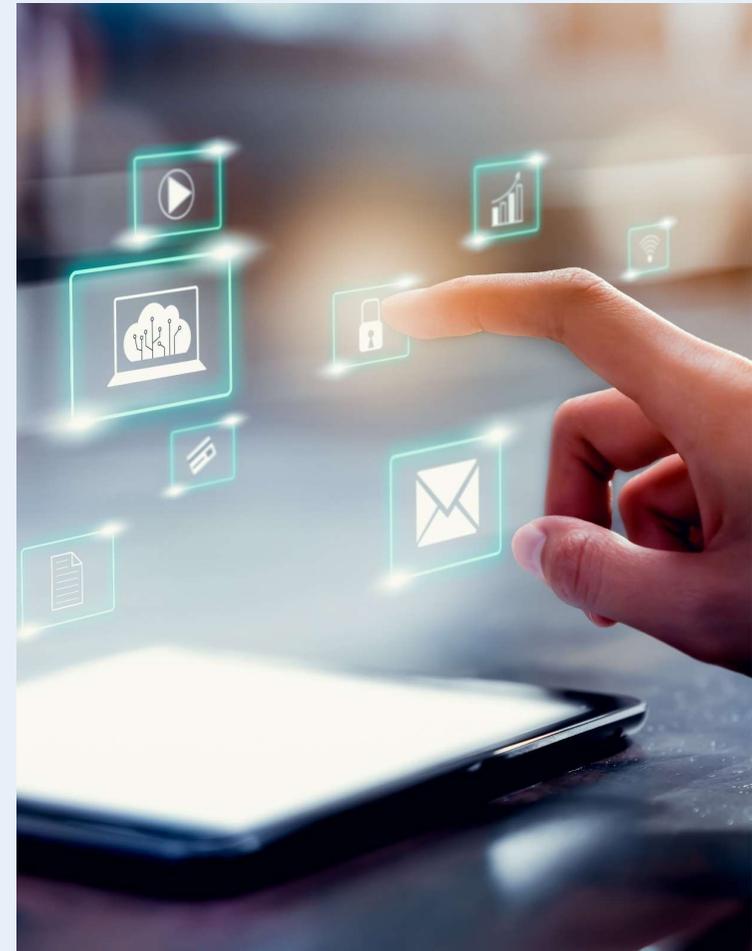
- DXのさらなる推進による業務システムの再構築
- 自然環境保全技術の開発
- 共創の強化と速度を高めた開発の促進



⑤ 安全衛生強化戦略

持続的な成長に結びつく安全文化の形成

- 「人命尊重・安全第一」を実現するため、安全管理活動の拡充を図る
- 「働き方改革」を実現するため、衛生環境活動を活性化する
- 「迅速で正確なコミュニケーション」を実現するため、業務のオンライン化を推進する



(2)経営・財務・投資戦略

① 経営・財務戦略

会社の成長を支える強固な財務基盤の確立と人財の確保

- 戦略的な資金活用とCCCの改善で適正利益と投資余力の創造
- 利益の全体最適配分と持続的な成長を見据えた先行投資の実現
- 新しい常態創造のためのDXの推進

② 成長投資戦略

持続的な成長を見据えた先行投資の実現

- 経営資源拡大のためのM&Aの推進
- R&Dへの先行投資でイノベーティブな技術の創出
- ESG、SDGsへの投資で事業の永続と地球環境への貢献を目指す



(3) サステナビリティ戦略

事業活動を通じた 社会・環境課題への積極的な貢献

- 先進的な建設技術を通じた持続可能な社会基盤の共創
- 気候変動への対応と環境負荷低減への取り組みのさらなる強化
- 社会における安心・安全の確保と誰もが活躍できる社会の実現
- 人権教育・人権啓発の推進



6. 株主還元方針

長期的観点のもと安定的かつ継続的に配当を維持する基本方針は継続いたしますが、「当社株主帰属当期純利益」の拡大に応じてその成果を株主の皆様と共有すべく、中期経営計画期間中に段階的に配当性向を高め、最終年度である2024年度に35%以上を目指します。

■ 参考 | 2019～2021年度配当金推移

	2019年度	2020年度	2021年度
配当金 (円/株)	41.0	50.0	54.0
配当性向 (%)	30.1	30.0	31.0

本資料に関するお問い合わせ



ライト工業株式会社

経営企画本部 経営企画部

03-3265-2555

本資料で開示されているデータ及び将来に関する予測は、本資料発表日現在の判断や、入手可能な情報に基づくものであり、
経済情勢や市場動向の変化等、様々な要因によって変化する可能性があるため、記載された目標・予想等の達成及び将来の業績を保証するものではありません。